

かわはた



年頭のあいさつ

済生会川俣病院 院長 佐久間博史



あけましておめでとうございます。
平成三十年のスタートです。
本年は診療報酬・介護報酬同時改定の年です。
昨年秋の衆議院議員選挙で自民党が圧勝したことにより、社会保障費圧縮政策が

行われ、診療報酬は全体▲1.19%規模 本体+0.55% 薬価等
▲1.74%の改定が決定され、病院経営は更に厳しい状況が予想され

我々の病院は「地域包括ケア病棟」と「障害者病棟」を維持し、達南
地区唯一の病院として地域医療の中枢施設として責務を果たさなくては
なりません。これまで以上に川俣町と連携を深め、行政と一致協力して
地域医療を守ってゆく覚悟が必要です。

待ったなしの人口減社会が目前に迫っています。地域住民の健康と快
適な生活を守るべく済生会川俣地域ケアセンター全体で手をとりあい、
今年もみなさんの力で一人一人が輝ける職場にしていきましょう。

本年度のスローガン

・連携とチーム医療の更なる強化
・仕事の効率化
・思いやり 患者や職員同志

基本理念

やさしさといたわりのある病院
開かれた地域医療のための病院

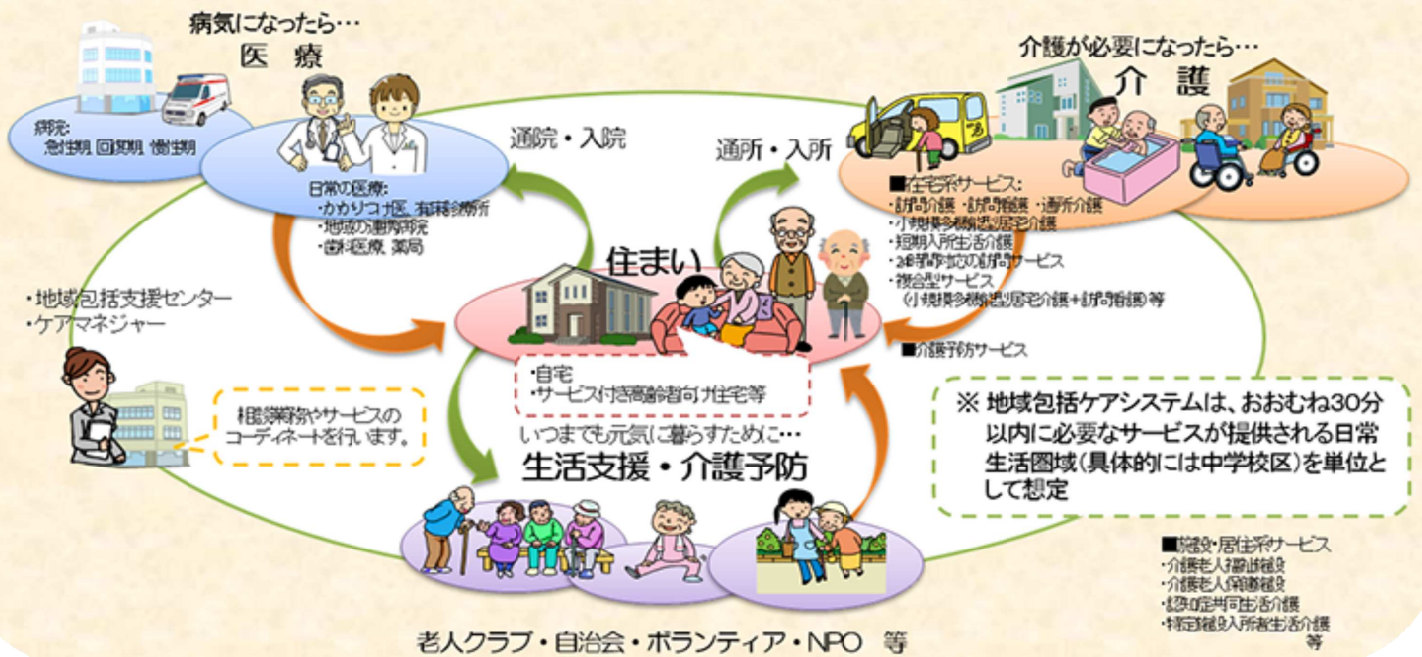


地域包括ケアの中の医療

内科医師 山口 鶴子

地域包括ケアは、全国的に取り組みが進められている地域の健康介護福祉の重要な課題です。地域包括ケアとは、誰もが住み慣れたところで生活が続けられるように、医療や介護・住まい・生活支援などのサービースが必要に合わせて、身近な地域で提供されることです。その中で医療が役割を果たすには、外来や入院だけでなく患者さんの住まいに向いて提供する在宅医療 訪問診療・往診・訪問看護などが欠かせません。在宅医療については、二十五年ほど前に医師や看護師が定期的に患者さんの住まいを訪問する、訪問診療や訪問看護の制度が新しくできました。訪問診療は、往診とは異なり、前もって日時を定めて訪問します。患者さんは、住んでいるところで診察を受け、必要な薬を続けることができます。また、訪問看護は訪問看護ステーションから看護師が定期的に訪問してケアを行うとともに、二十四時間体制で対応して緊急訪問も行います。在宅医療は、病気が落ち着いているが体が弱って通院が困難になった方や病院で治療は尽くしたので自宅で最期は過ごしたいという方が対象です。在宅医療を希望される場合は、先ず担当のケアマネジャーに相談してみてください。川俣町でも地域包括ケアの更なる充実に向けて、医師や看護師、薬剤師などの医療職と患者さんの介護サービスを担当する職種とが連携して、適時・適切に必要なサービスが届くように日夜取り組んでいます。

地域包括ケアシステムの姿



腎不全と透析療法について

臨床工学技士 小林 剛

腎臓の働きとは？】

腎臓は 尿をつくる 老廃物を排泄する(「働きがある」とはよく知られていますが、その他にも

- ・水分や電解質 ナトリウム、カリウム、リン他) など
- ・血圧を調節する
- ・体で働けるビタミンDをつくり
- ・活性化)、骨を丈夫に保つ
- ・赤血球をつくる働きを助ける

など、さまざまな働きをしています。よって腎臓は、体を正常に保つために、とても重要な臓器です。



腎臓の働きが悪くなるって？】

体がむくんだり、血圧上昇、貧血、夜間多尿といったさまざまな症状が現れ、やがて心臓の働きが悪くなったり、意識障害や呼吸困難などの尿毒症となり、放置すると死に至ることになります。

腎臓の働きが慢性的に低下した状態を「慢性腎不全」と呼びます。慢性腎不全になると腎機能の回復は見込めず、食事療法や投薬によってその進行を止めたり、遅らせる治療を行います。治療や管理を行っても腎機能の低下が進行して「末期腎不全」の状態になり、自分の腎臓で生命を保てなくなると、

腎臓の働きを補うために透析療法や腎移植といった腎代替療法が必要となります。

特に、「尿毒症」という症状が出始めたら注意が必要です。

全身のむくみや呼吸困難、食欲不振や吐き気などの消化器症状や、重篤になるとけいれんや意識障害などが現れることがあります。

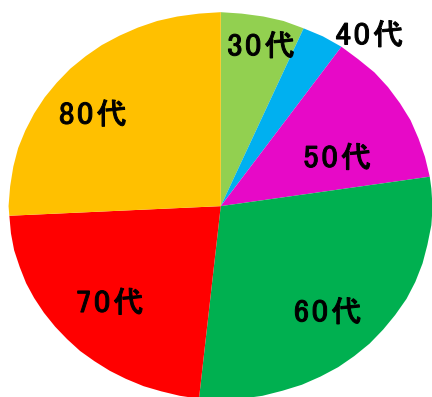
透析療法はどのようにして必要なのですか？】

透析療法とは、人工的に血液中の余分な水分や老廃物を取り除き、血液をきれいにする働きを腎臓に代わって行う治療法です。

透析療法には、機械に血液を通してきれいにする「血液透析」と、患者さんご自身のお腹の膜(腹膜)を利用して血液をきれいにする「腹膜透析」の2つに大きく分けられます。

これらはいずれも腎臓の働きの一部を補うもので、完全に代行できるものではありません。透析療法では補えない部分は、患者さんご自身で食事管理や服薬を守ることが必要です。

当院の透析患者年齢	
30代	2名
40代	1名
50代	4名
60代	9名
70代	7名
80代	8名



(2017年10月現在)

川俣病院学会 開催

十一月十日（金）に院内学会を初めて開催しました。

九名の職員からエントリがあり、職種は看護師・コメディカルスタッフ・事務職と多岐に渡りました。

今回の目的は、発表を通して他部署の専門知識や業務・研究内容を理解する事により、医療の質の向上を図ることにした。発表の最中にはうなずきがあり、笑いがあり、楽しく学ぶことが出来ました。

発表者からは、
「決められた時間の中にまとめるように苦労した。」
「二分前のベルが鳴ると焦ってしまいました。」などの体験談がありました。

また、発表終了後に実施したアンケートの結果、約六割の職員が満足と答えていました。

初の試みで不慣れな点もありましたが、多職種連携を深める第一歩になったと大好評でしたので、今後も定期的に開催していきたいと思えます。

総務課 田中央樹



当院ではじめての学会に発表ができたことは自分にとって、とても貴重な経験ができたと思います。

あがり症の私は、人前で発表することはとても苦手ですが、自分への挑戦になりました。これに懲りず、今後もあがり症の自分を克服するために、これからも機会があれば挑戦を続けていきたいです。

4階看護師 菅野真実

プロカルシトニン是全国的に広く検討されている敗血症のマーカーのひとつです。今回の発表を通して、医療の現場で手助けになれたら喜ばしく思います。

臨床検査技師 瀧野貴之

発表の場を頂きありがとうございました。緊張のあまり、原稿を読み上げるのが精一杯でした。発表内容が上手く伝わったのか疑問なところや他の参加者の発表を見て参考になりました。反省点も多くありますが、機会があれば参加したいと思います。

臨床工学技士 小林 剛

いろいろと勉強になりました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

外来看護師 藤田美智子

発表を終えて...

ミニ学会に参加させていただき、改めて人に伝えることの難しさが分かりました。

自分でも、再度業務を振り返ることができ、参加して良かったと感じました。特に、コミディカルの方達の貴重な話も聞くことができ、今後の済生会に期待しつつ、ぜひ来年につなげて欲しいと思います。 3階看護師 菅野明美

他の部署の専門知識や業務・研修内容を理解したり、資料作成での表現について様々な意見を集約することに苦労しました。

研究という体での発表が出来なかった事が反省です。 医事課副主任 佐藤 怜

第1回ということで、勝手のわからない中での発表となりましたが、参加者が同職種のみならず全職種対象だったため、聞き手にとって分かりやすい内容となるように心がけました。多職種連携のきっかけとなれば幸いです。

理学療法士 佐藤秀一

今回のテーマは、会計監査のコアな部分のため、馴染みのない方々にとっては、聴くだけでもかなり苦痛であったと感じています。会計制度に興味を持つこと自体が難しいので、もっと分かりやすく説明すべきだったと反省しています。

もし、次回チャンスがあれば、監査の「裏」でやりとりされている会話をベースに、興味を惹きつけるような話題提供をしたいと考えています。

総務課係長 八幡亮平

記念すべき第1回目の最後の発表で、緊張しましたが、地域包括支援センターの業務を知ってもらう良い機会となったと感じます。今後も済生会学会を通じて、たくさんの学びと院内連携が図って行ければと感じます。さて、次は誰の番かな？ 川俣町地域包括支援センター 所長 宮口正稔



クリスマスコンサート開催

十二月二十二日(金)病院の一階ロビーにて、毎年恒例のクリスマスコンサートを開催しました。

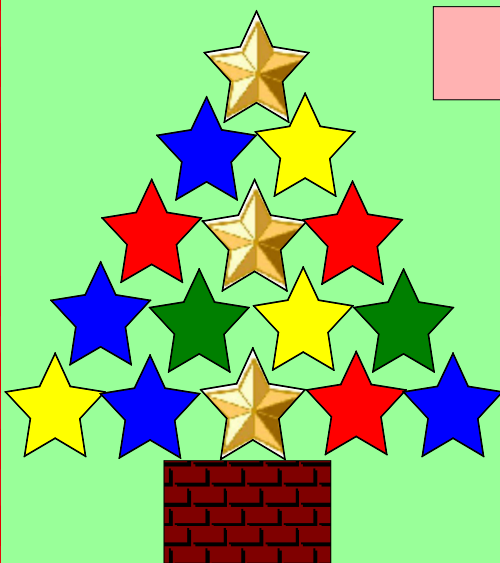
今年、セラピーオカリナによるオカリナ演奏を披露して頂きました。セラピーオカリナの皆様は、ボランティアで施設などを訪問しながら演奏活動をしています。

コンサートは、クリスマスソングや歌謡曲など全十二曲の演奏で、多くの外来入院患者が訪れ、きれいな音色で、心も体もリラックスしたようでした。また、業務中の職員も、美しい音色に誘われてしばし聴き入っていました。

市川より子看護部長より、十二曲も演奏し続ける肺活量は素晴らしい！素敵の感想がありました。

来年も沢山の患者様に喜んで頂き、一緒に楽しめるコンサートを開催していきたいと思えます。

総務課 齋藤真由美



第五回健康相談会《開催》

十月九日（丹）体育の日に、コスキン・エン・ハボンが開催されました。開かれた地域医療のための病院」を目的し、川俣町保健センター前に相談ブースを設置し、無料健康相談会を開催しました。

第五回目となる今回は、大阪府済生会中津病院より地域医療研修で来院中の研修医小林瞳先生・上野憲子先生にお手伝いを頂きました。

九日の十時から十四時までの四時間と短時間でしたが、十五名が相談に见えました。

訪れた方は高齢者が多く、相談内容は生活習慣病や高血圧から、骨や筋肉に痛みを感じ整形外科の受診を迷っている方まで多種多様でした。

また当院のあり方など貴重なご意見をいただくこともできました。

今後も健康相談を通じて地域医療の役割を担うと共に、済生会の名を浸透させることができるよう取り組んでいきたいと感じました。

総務課 田中央樹



先輩から、「10月に行くならコスキン祭りやな！」と言われてどんな祭りだろうと楽しみにしてきました。

国内唯一の祭りがこの川俣町で10月に行われるなんて運命的だなと思いながら当日を迎え、初めて聞く演奏では、どこか懐かしく陽気な気分になりました。

健康相談にもたくさんの方にお越しいただき、町民の方と近い距離でお話でき勉強になりました。

小林 瞳

今回、地域研修の一環としてコスキン祭での健康相談を務めさせていただきました。

東北地方来訪すら初めてなので、コスキンとは何だ？状態でしたが、子供からご老人まで協力し、南米の明るい音楽を演奏している姿があり、こちらも自然とリズムにのってしまいました♪

町民の方が気さくに何でも話してくださり、体のことだけでなく色々な不安があることを聞くことができ、勉強になりました。来年のコスキンも町民全員が健康で参加できますように！

上野 憲子

なでしこ健康まつり

「第13回なでしこ健康まつり」が10月28日（土）に当院で開催されました。当日は天候にも恵まれ、12時30分～15時30分までの3時間という時間ではありましたが約100名の方が来場されました。

今年のなでしこ健康まつりでは、消化器内視鏡専門医である当院の数田良宏先生に「川俣町胃がんリスク検診について～2年実施しての中間報告～」というテーマでご講演していただきました。

また、伊達地方消防組合中央消防署南分署によるAED取り扱い講習や村上病院による心の健康コーナー、当院理学・作業療法士による健康体操、フードコーナー、健康チェックコーナー、医療・健康相談コーナー、医療介護職を目指す方のための相談コーナー、チャリティーバザー、大抽選会も行われました。どのコーナーも盛り沢山の内容で、来場された方々から大変ご好評をいただきました。

地域住民だけでなく、関係機関との連携や親睦を深める意味でも、なでしこ健康まつりはとても有意義なものになったのではないかと思います。

最後になりましたが、なでしこ健康まつり実行委員をはじめ、今回ご協力・ご協賛いただいた業者・関係機関の皆様、当院職員の方々には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(実行委員長 佐藤佑亮)



川俣病院マスコット
なでちゃん





外来診療予定表

平成30年1月1日より

		受付時間	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	一診	8:45~11:30	佐々木俊教	数田 良宏	佐々木俊教	大庭 敬	大庭 敬	佐久間博史 大庭 敬 佐々木俊教 数田 良宏 (交代制)
		二診	8:45~11:30	山口 鶴子	君島 弘子	佐久間博史	君島 弘子	君島 弘子	山口 鶴子
		循環器	8:45~11:30						済生会福島 総合病院 第2・4・5
		リハビリ	8:45~11:30	粕川 禮司					渡辺 浩志 第1
		糖尿病 外来	8:45~11:30		済生会福島 本間美優樹 第1・3				
	午後	13:00~16:00	佐久間博史	福島医大	数田 良宏	佐久間博史	君島 弘子		
外科	午前	8:45~11:30		福島医大	芳賀 志郎		済生会福島 総合病院		
	午後	13:00~16:00		福島医大					
整形外科	午前	8:45~11:30	福島医大					福島医大	
	午後	13:00~16:00			福島医大				
泌尿科	午後	13:00~16:00	山中 直人 第2・4				山中直人 診 察 14:30~		
眼科	午前	8:45~10:30				福島医大			
	午後	13:00~15:00	予約診療 第2・4		福島医大				
皮膚科	午後	13:00~16:00				高橋 博 診 察 14:00~			



済生会川俣病院

電話 024-566-2323

FAX 024-566-2325

<http://www.kawamata.saiseikai.or.jp/>

済生会春日診療所

電話 024-566-2707

FAX 024-566-2707

なでしこ川俣

電話 024-566-2661

FAX 024-566-2665

川俣町地域包括支援センター

電話 024-538-2600

FAX 024-538-2601

済生会かわまた居宅介護支援事業所

電話 024-566-2657

FAX 024-566-2658

済生会川俣光風園

電話 024-566-3221

FAX 024-566-3331

平成29年4月1日より眼科の通常診療日が **火・木** → **水・木** に変更となっております。